

# 2019年度 菜の花飯山サイクルロードレース

<同時開催> 2019年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第2戦 菜の花飯山ラウンド

## 大会要項

主催 菜の花飯山サイクルレース実行委員会  
共催 長野県自転車競技連盟  
後援 飯山市 飯山市教育委員会 NPO 法人飯山市体育協会 信州いいやま観光局 戸狩観光協会

協賛



長野県牛乳普及協会 戸狩観光協会 アートいっぽ

主旨 本大会は一般自転車愛好者(競技者登録をしていない者)を対象とし、ヒルクライム競技ならびに個人タイムトライアル競技の優勝者を決めるとともに、地域における自転車競技の普及と発展、及びスポーツ振興に寄与することを目的とする。

日程 2019年 4月28日(日) ~ 4月29日(月祝) 【どちらか1日のみの参加も可能】

<1日目 4月28日(日)> タイムトライアル競技・クリテリウム競技

09:00~09:50 一般選手受付 長峰スポーツ公園内大会本部  
10:00 開会式  
10:15 タイムトライアル スタート  
10:45 チャレンジ200mダッシュ! スタート  
11:30 受付地点近傍にて各クラス上位3選手表彰

10:30~	登録選手受付	学連運営本部
11:25	クラス3A組	ポイントレース方式 25分+5周回
12:05	クラス3B組	ポイントレース方式 25分+5周回
12:45	クラス3C組	ポイントレース方式 25分+5周回
13:25	女子	ポイントレース方式 20分+5周回
14:00	クラス2A組	ポイントレース方式 35分+5周回
14:50	クラス2B組	ポイントレース方式 35分+5周回
15:40	クラス1	ポイントレース方式 50分+5周回
16:40	交通規制解除	
16:45~	ゴール地点近傍にて各クラス上位3選手表彰、第1日目 RCS リーダー表彰	

全日本学生ロードレースカップ

<2日目 4月29日(月祝)> ヒルクライム競技

8:50~9:20 一般選手受付 飯山市外様地区活性化センター  
9:30~ 開会式  
10:00~ ヒルクライム スタート(学生レースと同時出走)  
11:30~ 本部近傍にてヒルクライム競技表彰、及び2日間総合表彰

08:00~08:15	選手受付(全クラスの当日分受付)
08:30	ヒルクライム ヒート1(クラス3+女子)
10:00	ヒルクライム ヒート2(クラス3+女子)
12:00	ヒルクライム ヒート1(クラス1+クラス2)
13:30	ヒルクライム ヒート2(クラス1+クラス2)
15:00~	スタート地点近傍にて各クラス上位3選手表彰 第2日目 RCS リーダー表彰、飯山ラウンド総合表彰

会場 <1日目 4月28日(日)> タイムトライアル等競技  
長野県飯山市 長峰スポーツ公園 針湖池外周コース  
・2.5km個人タイムトライアル ・チャレンジ200mダッシュ！  
長野県飯山市 長峰スポーツ公園 特設本部テント前広場  
チャレンジ2mスタイル！

<2日目 4月29日(月祝)> ヒルクライム競技  
長野県飯山市 県道411号 飯山新井線 外様地区活性化センター ～ 鷹落山頂上付近  
登坂距離 6.0km 標高差 484m 1回登坂  
飯山市外様活性化センターからの集落内はパレード走行し、審判の指示でリアルスタートとなります。

資格 <ヒルクライムおよび個人タイムトライアル>

健康な中学生以上の男女  
安全に競技のできる自転車、ヘルメット、グローブを持参できる方  
日本自転車競技連盟登録選手であることを要件としません  
開催クラスは以下のとおりとします  
男子 高校生以上 2004年4月1日以前に誕生した者  
男子 中学生 2004年4月2日から2007年4月1日までに誕生した者  
女子 高校生以上 2004年4月1日以前に誕生した者  
女子 中学生 2004年4月2日から2007年4月1日までに誕生した者

<チャレンジ200mダッシュ！>

健康な小学生以上の男女  
適正に整備された自転車、ヘルメット、グローブを持参できる方（ヘルメット、グローブの種類は問いません）  
自転車の種類は問いませんが、二輪に限ります（一輪車、補助輪付き自転車では参加できません）  
個人タイムトライアルとチャレンジ200mダッシュ！の同時申込はできません  
開催クラスは以下のとおりとします  
小学生1～3年 2010年4月2日から2013年4月1日までに誕生した者  
小学生4～6年 2007年4月2日から2010年4月1日までに誕生した者  
男子 中学生以上 2007年4月1日以前に誕生した者  
女子 中学生以上 2007年4月1日以前に誕生した者

<チャレンジ2mスタイル！>

健康な小学生以上の男女（一般選手、登録選手を問わず参加可能）  
適正に整備された自転車、ヘルメット、グローブを持参できる方（ヘルメット、グローブの種類は問いません）  
自転車の種類は問いませんが、二輪に限ります（一輪車、補助輪付き自転車では参加できません）  
開催クラスはありません。申込者全員によるトーナメント戦です（当日、現地でのお申込となります）

申込 1. 参加料はどちらか1種目のみ参加の場合は1,500円、2種目とも参加する場合は2,000円となります  
※チャレンジ200mダッシュ！、チャレンジ2mスタイル！は参加無料です ☆賞品もあります☆

2. 下記いずれかの方法で、お申込みください

- 1) WEB エントリー <JTB スポーツステーション> <https://jtbsports.jp/>
- 2) FAX、メールもしくは郵送（下記申込先に参加申込書を送付した後、参加料をお振込みください）
- 3) 直接申込（下記申込先まで、申込書に参加料を添えてお持ちください）

<参加申込先>

〒389-2292 飯山市大字飯山1110-1  
飯山市教育委員会事務局 スポーツ推進室内  
「菜の花飯山サイクルレース実行委員会」  
TEL 0269-62-3111 FAX 0269-62-5990  
MAIL [sports@city.iiyama.jp](mailto:sports@city.iiyama.jp)

申込期間 WEB エントリー・・・4月12日締切 その他の方法・・・4月19日締切
---

<参加料振込先>

長野県信用農業協同組合連合会 飯山事務所 普通 000438  
菜の花飯山サイクルレース実行委員会 事務局 上原 純一(ウエハラ ジュンイチ)

3. 大会が中止となった場合でも、参加料は返却いたしません。また、交通費、宿泊費等も補償いたしません
4. 宿泊を希望する場合は宿泊申込書に記入のうえ、戸狩観光協会までお申込みください

受付場所 <1日目 4月28日(日)>

飯山市長峰スポーツ公園、特設本部

別紙会場図を参照

受付時間内に、本部テントにて受付をお願いいたします。(ゼッケン等は当日受付時にお渡します。)

<2日目 4月29日(月祝)>

飯山市外様活性化センター、特設本部

別紙会場図を参照

受付時間内に、本部テントにて受付をお願いいたします。(ゼッケン等は当日受付時にお渡します。)

競技規則 <ヒルクライムおよび個人タイムトライアル>

2019年度 菜の花飯山サイクルロードレース ヒルクライム競技特別規則 (別紙)

2019年度 菜の花飯山サイクルロードレース 個人タイムトライアル競技特別規則 (別紙)

<チャレンジ200mダッシュ！>

200mの直線コースを一人ずつ60秒間隔でスタートします

200mの所要時間で順位を競います

自転車の種類は問いませんが、二輪に限ります (一輪車、補助輪付き自転車では参加できません)

出走時刻は当日、本部前のコミュニケ(掲示板)で発表されます

<チャレンジ2mスティル！>

縦横2mほどの決められた範囲内で対戦相手とどちらが長く自転車に乗ってられるかを競います

大会主催者側で抽選したトーナメント戦となります

自転車の種類は問いませんが、二輪に限ります (一輪車、補助輪付き自転車では参加できません)

開始時刻、トーナメント表は、当日本部前のコミュニケ(掲示板)で発表されます

成績

<ヒルクライム> 一斉スタートし、フィニッシュ通過順で成績とします

<個人タイムトライアル> 60秒間隔の単独スタートで独走し、所要時間の少ない順で成績とします

<総合成績> 1日目のタイムと、2日目のタイムを5倍したタイム、の合計で総合成績とします

<チャレンジ200mダッシュ！> 30秒間隔の単独スタートで独走し、所要時間の少ない順で成績とします

<チャレンジ2mスティル！> トーナメント戦での勝利を成績とします

表彰

競技終了後 受付地点近傍にて 開催クラスごとにヒルクライム上位3選手を表彰します。

表彰対象選手は受付地点付近に待機し、必ず表彰式に出席してください。

なお、2日目は2日間総合表彰も行います。

※ チャレンジ200mダッシュ！については、開催クラスごとに上位3選手を表彰します  
選手は競技終了、大会本部付近に待機してください

※ 賞品は当日発表とします

**事故責任** 主催者による健康診断は行いません。各自の責任において健康に十分留意のうえ参加してください。  
レース中、万一事故が発生した場合でも、主催者は傷害保険に加入している範囲以外の責任は負いません。  
急病、傷害、死亡、器物破損、自転車の盗難などは、すべて参加者の責任とします。  
必要な方はあらかじめご自分の責任で保険等にご加入ください。  
第三者に対する賠償も、参加者の責任とします。特に一般公道での安全確保については十分注意してください。  
参加者は必ず健康保険証を持参してください。

- 注意事項**
1. 安全確保は参加者の責任です。必要な道路交通法および交通ルールマナーを守り、走行してください。
  2. 走行時は必ずヘルメットを着用してください。
  3. 自転車は十分に整備された安全なものを、参加者各自の責任で用意してください。  
特にブレーキ等は必ず点検をお願いします。
  4. パンクなど自転車の修理・管理は、参加者各自の責任で行ってください。  
主催者は修理等を一切行いません。
  5. 中高生など未成年の参加者については、使用する自転車の状態に保護者が必ず責任を持ってください。
  6. 自己および他者に危険を及ぼす行為、危険を及ぼすと思われる行為は全て禁止します。
  7. この注意事項に記載されていないことであっても、安全上好ましくないと思われる場合や、自己および他者に対して危険を及ぼすことが予想される場合は、主催者側の判断で走行を棄権していただきます。
  8. 安全に配慮し、参加者の前後に誘導車が付きますので、その指示に従って走行してください。
  9. 予定プログラムは変更する場合があります。

**その他** 大会要項は諸事情により予告なく変更される場合がありますので、飯山市ウェブサイトを随時確認してください。

2019年度 菜の花飯山サイクルロードレース  
ヒルクライム競技特別規則

第1条(競技)

1. スタート地点から鷹落山頂上付近までの登坂競走とし、着順により順位を決定する。
2. スタート位置はクラスごとに表示されるので、競技役員の指示に従うこと。
3. スタートは一斉スタート。スタート後、赤旗を示している間は非競技区間とする。
4. 集落から外れて、集団の隊列が整っている場合、先導車から緑色の旗を出して競走開始を指示する。
5. フィニッシュ右側から着順を判読するため、右側の腰にゼッケンを装着すること。

第2条(防寒対策、降下)

1. 氏名を書いたビニール袋に防寒用具を入れて、先導車に預けることができる。先導者はフィニッシュ地点で待機する。主催者は選手荷物の紛失・盗難、指定時刻に遅れた荷物の搬送について、一切責任を負わない。
2. 最終選手フィニッシュ後、先導車輛の誘導で、安全な速度で坂を下る。競技後、降下中に大きな事故が発生しやすいので、安全走行に努めること。

第3条(道路状況等への対応について)

1. 道路状況等により、コースや種目の変更、競技の中止を行う場合がある。

2019年度 菜の花飯山サイクルロードレース  
個人タイムトライアル競技特別規則

第1条(競技)

1. 1分間隔でスタートし、2. 5km(1. 15km×2周回+200m)を単独で走行、その所要時間により順位を決定する。  
スタート時刻は当日、受付にて発表する。  
スタートは発送台を用いる。
2. スタート時刻に遅れた場合も、正規の時刻にスタートしたものとみなして計時する。  
フライングを犯した場合、1秒単位に切り上げて、その2倍の秒をペナルティーとして与える。  
(0.1秒のフライングの場合、1秒に切り上げて、2秒をフィニッシュ通過時刻に加算する)
3. フィニッシュ付近は走行レーン(進行方向に対して)を以下の3本に分ける。  
最左レーン 0. 15km 地点を走行する選手用  
中央レーン 1. 3km 地点を走行する選手用  
最右レーン 2. 5km ゴールする選手用 (フィニッシュ計時は最も右側のレーン通過選手にだけ行う)
4. 走行中 前方選手の真後ろ25m以内を走行してはならない。(空気抵抗で有利な位置となるため)  
走行中 前方選手を追い抜く場合、左右間隔1m以上開けること。
5. 飲食料の補給は認めない。
6. 競技中事故(転倒、機材故障、パンク)が発生した選手は、直ちに安全な場所に退避しなければならない。主催側で指定した機材交換エリアでの車輪交換、修理は認められ、審判の指示に従って最出走することができる。  
再出走を希望する選手は、フィニッシュ地点審判長まで直ちに申し出ること。

第2条(その他)

1. ジュニア選手に対してレース後抜き打ちでギヤ比検査を行う。  
今大会はJCF未登録選手を対象とした大会であるので、ペナルティーの対象とはならない。  
日本自転車競技連盟における、正規の大会では、ペナルティーの対象となっている。  
若手選手の故障防止の観点から、最大ギヤ比制限を遵守することを強く推奨する。

日本自転車競技連盟競技規則 要点

- 使用自転車 ロードレーサーで完全に作動するブレーキが2個あること
- ヘルメット 着用すること。日本自転車競技連盟(JCF)マーク付きを推奨
- グローブ 着用を強く勧めます
- 個人タイムトライアルでは、空気抵抗で有利になる前方選手の真後ろを走行してはならない。
- 個人タイムトライアルでは、追い抜く場合、左右に十分な間隔をとって追い抜くこと。
- 最大ギヤ比 2000年2001年生まれの選手に推奨する ギヤ比の上限 52×14  
2002年2003年生まれの選手に推奨する ギヤ比の上限 52×16  
2004年2005年生まれの選手に推奨する ギヤ比の上限 46×16

注意：大会要項は諸事情により予告なく変更される場合があるので、飯山市ウェブサイトを随時確認すること。